

ESG投資の 5つの誤解



“HSBCアセット
マネジメントが実施
したサステナブル
投資調査では、
アジアの投資家の
80%以上が
投資において
ESG課題が中核をなす
と考えている”

ESGにまつわる5つの誤解

ESG投資は主流になりつつあり、近年では重要な投資戦略となっています。HSBCアセットマネジメントが2021年初頭に香港、中国本土、シンガポール、英国で実施したサステナブル投資に関する調査によると、アジアの投資家の80%が投資するにあたりESGの課題を中心に考えると答えています。

また、50%以上はESGへの取り組みを強化したいが、どこから手を付けていいかわからないと回答しています。ESG投資はハードルの高いものなのでしょうか？当レポートでは、ESG投資でよく聞かれる5つの誤解を紐解いていきます。

アジアでは

84%

の投資家が投資において
ESG課題が中核をなすと
考える

香港

84%

中国

89%

シンガポール

80%

しかし、

60%

の投資家がESG投資にどのように
アプローチすればよいかわからない

2021年2月末現在

出所: HSBCアセットマネジメントの「Sustainable Investing Survey」

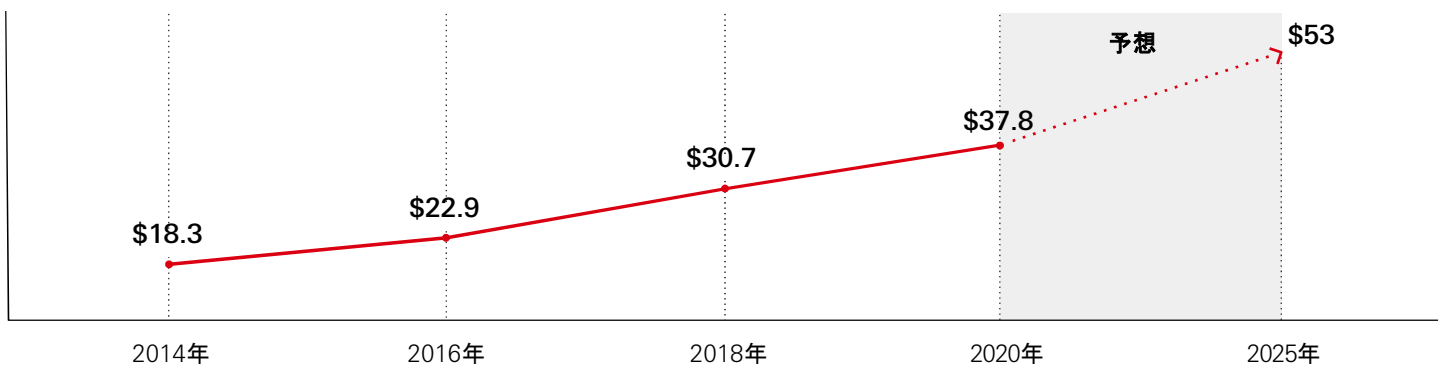


❓ 誤解①: ESG投資では非常に限られた選択肢しかない

事実: 新型コロナ危機が起こり、市場はESG投資のメリットを認識し始めました。それに伴いESG投資は主流となり、投資家が利用できる商品の種類も大幅に増えました。ESG投資の資産総額は、現在の約38兆ドルから2025年までに53兆米ドルへと拡大し、世界の運用資産全体の3分の1以上を占めると予想されています。

拡大するESG投資規模

世界のESG運用資産額 (兆米ドル)



※2020年と2025年のデータはBloomberg Intelligenceによる予想値(2021年2月23日現在)
出所:「2018 Global Sustainable Investment Review」(The Global Sustainable Investment Alliance)

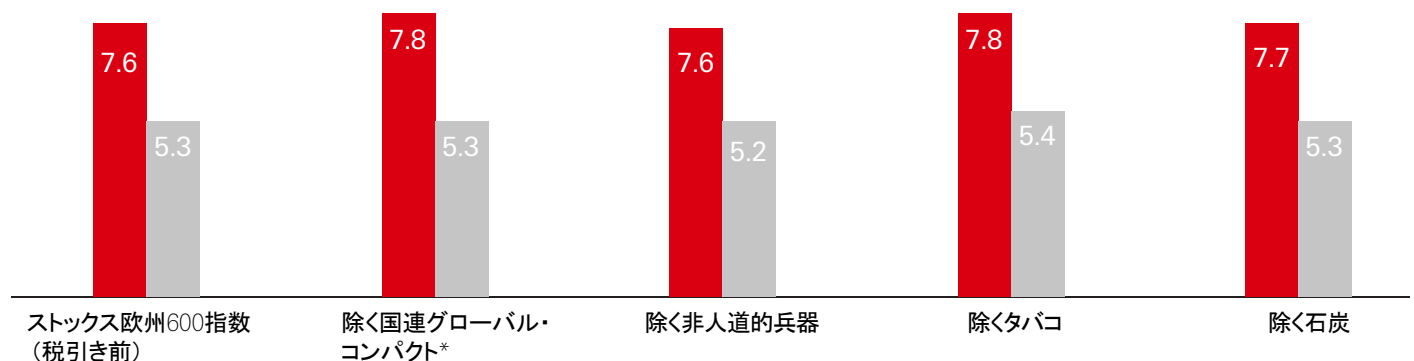
❓ 誤解②: ESG投資は選択肢を狭め、リターンを低下させる

事実: 一般的なESG投資のアプローチの一つに、責任投資の基準にそぐわない特定のセクター(タバコ、核兵器など)を除外するネガティブ・スクリーニングがあります。除外することで投資対象が限定されることは避けられないものの、過去の分析では、特定の産業を除外しても長期的なリターンに大きな影響がないことが示されています。

ネガティブ・スクリーニングは長期的なリターンを損なわない

ストックス欧州600指数を例に見る長期リターン

■ 1998年の算出開始以来の年率リターン(%) ■ 5年間の年率リターン(%)



2018年11月27日現在

* 国連グローバル・コンパクトのコンプライアンス原則を遵守していない企業を除外しているため、石油、ガス、銀行、ヘルスケア、資源、自動車などのセクターがアンダーウェイトとなっています。

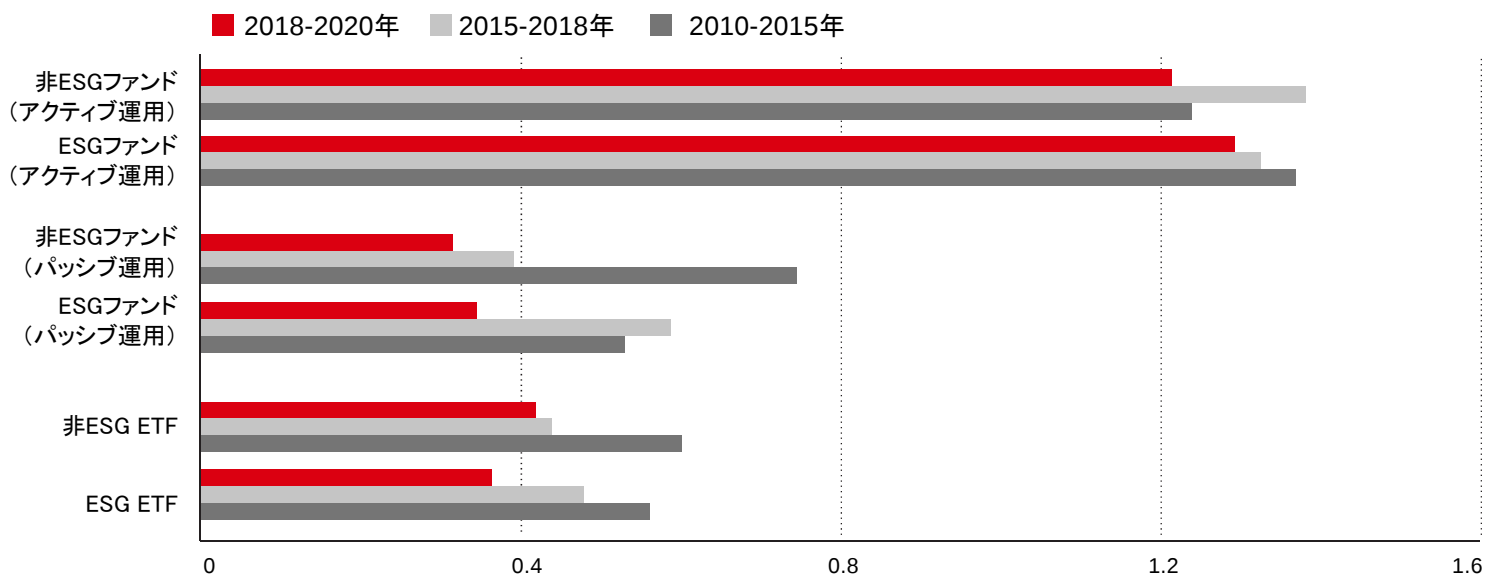
出所: STOXXリミテッド

❓ 誤解③: ESG投資には高いコストがかかる

事実: ESGファンドの運用コストは過去10年間で着実に低下しています。2018年から2020年までの期間におけるESGファンドの 카테고리別の平均総コスト率は、非ESGファンドとほぼ同水準でした。さらに、ETFの 카테고리で見ると、ESGファンドの平均総コスト率は非ESGファンドよりも低水準でした。

ESGファンドのコストは非ESGファンドと同水準

平均総コスト率



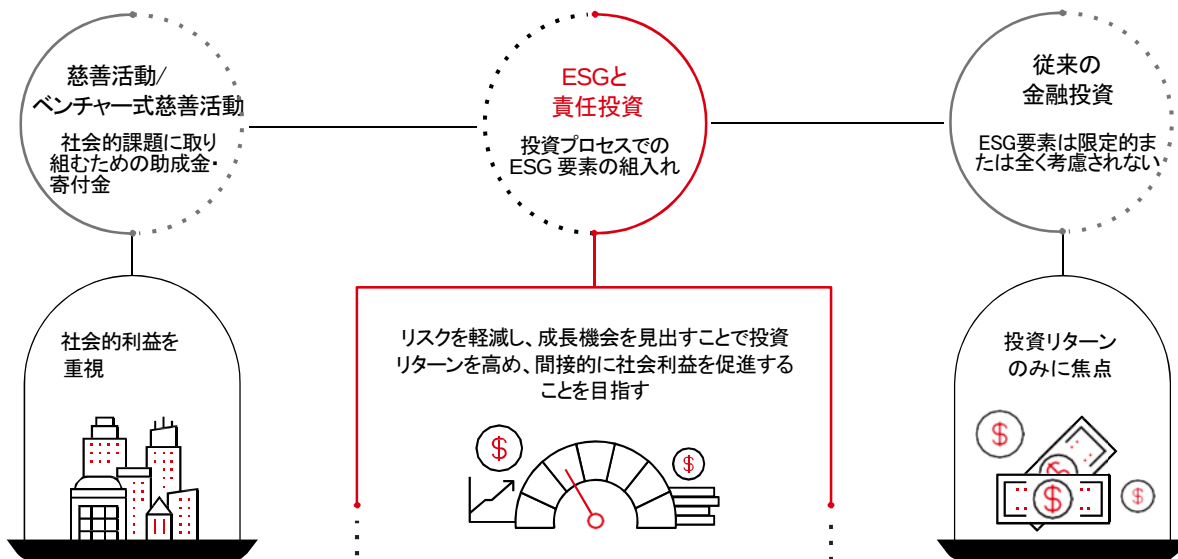
2020年12月15日現在

出所: リフィニティブ・リッパ、ポートフォリオ・アドバイザー

❓ 誤解④: ESG投資は慈善活動と変わらない

事実: ESG投資はチャリティとは本質的に異なります。慈善事業が主に助成金や寄付を通じて社会的課題に取り組むのに対し、ESG投資は、主に投資プロセスにおいてESG要素を考慮してリスクを低減すると同時に成長機会を見出すことで長期的なリターンを高めることを目的としています。

ESG投資は投資リターンと社会的利益を両立させる



出所: 「ESG Investing: Practices, Progress and Challenges」、Boffo, R., and R. Patalano (2020)、OECD.

❓ 誤解⑤: 投資家は企業の意思決定に影響を与えることはできない

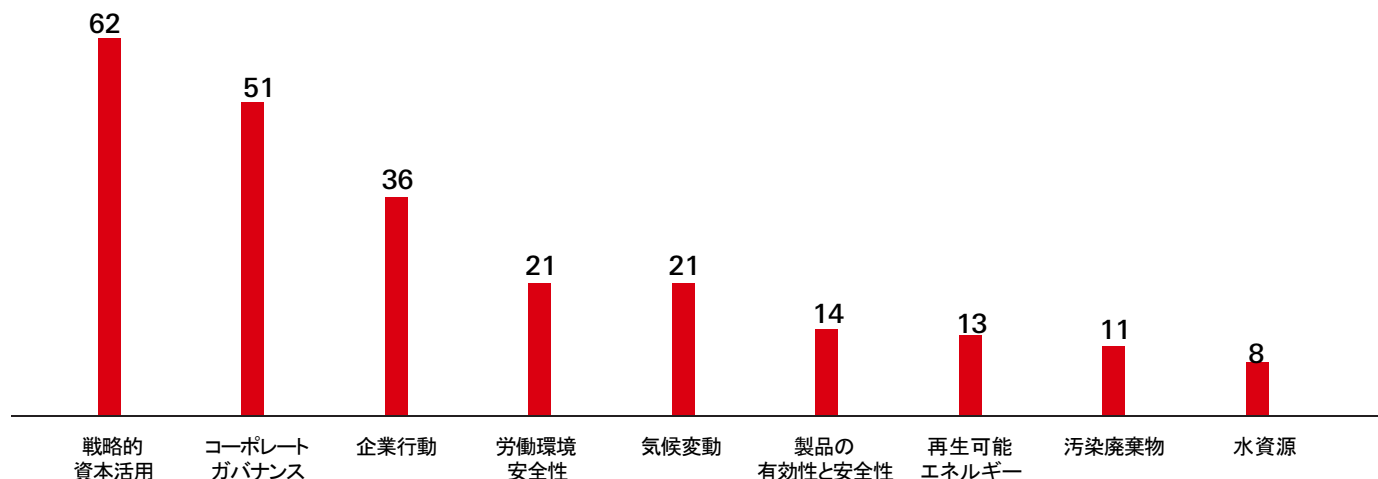
事実: 企業の意思決定において、株主のエンゲージメントは重要な役割を果たしています。特に、多くの機関投資家は企業のESG方針を強化するためにその影響力を積極的に行使しています。

例えば、HSBCアセットマネジメントでは、株主として企業へ積極的に働きかけた多くの成功事例があります。

- 2019年にニュージーランドで暴力事件がソーシャルメディアでライブ配信されたことを受けて、HSBCアセットマネジメントはソーシャルメディア企業と連携し、より強固なリスク管理の確立へと結びました。これに続いて、主要SNSプラットフォーム2社は、その管理アプローチをより明確なものへと発展させました。
- HSBCアセットマネジメントは世界的なレストランブランド4社と面談し、各社の炭素排出量に対する懸念を伝えました。そのうち数社は、植物由来のたんぱく質素材を使用したメニューや製品をその後発売し、利益を生み出し始めています。

2020年、HSBCアセットマネジメントの企業エンゲージメントにおけるESGテーマ

企業との面談で議論された割合(%)*



2020年12月31日現在

*ESG関連のトピックが議論された会議の割合。同一の会議で複数のトピックが取り上げられるため、合計は100%になりません。

出所: HSBCアセットマネジメント

結論

ESG投資は、社会的利益を長期的に持続させながら投資リターンを得ることを目的としています。

機関投資家がESG投資に注目するのは、ESG要素を投資戦略に組み込むことで、リターンを損なうことなくリスク管理を強化できるからです。

ESG投資戦略が徐々に主流になるにつれ、低コストの個人投資家向けの商品も増加しており、選択肢も増えています。



留意点

当資料に関する留意点

- ◆ 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買、金融商品取引契約の締結に係わる推奨・勧誘を目的とするものではありません。
- ◆ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ◆ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ◆ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

<個人投資家の皆さま>

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.85%(税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用(信託報酬) 上限年2.20%(税込)
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。 「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

- ◆ 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
- ◆ 費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
- ◆ 投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC投信株式会社*

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.co.jp



電話番号 03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

※2021年11月1日付けで商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更します。

当社の商号変更以降につきましては、当社名を表す記載を「HSBCアセットマネジメント株式会社」とお読み替えてください。



HSBC
Asset Management

Together we thrive